

愛知県立高等専門学校の設置について

資料 4

愛知県では、生産年齢人口の減少、DX や AI の急速な進展等、将来の社会・産業構造変化を見据え、即戦力となる「高度なものづくり人材」の育成を図るため、愛知県立高等専門学校の設置に向けた準備を進めている。

(1) 学校概要

- ・設置・運営主体：愛知県公立大学法人
- ・設置場所：愛知総合工科高等学校校地内※
(名古屋市千種区星が丘山手 107)
- ・開校時期：最短で 2029 年 4 月
- ・定員規模：1 学年 1 学級 40 名（5 学年で 200 名）

※教室や実習施設は、高校の既存施設を活用し、校舎の建設を最小限とする。

<初代校長予定者>



みずたにのりみ
水谷法美 氏

学歴	工学博士（名古屋大学）	
経歴	2002 年 10 月	名古屋大学大学院工学研究科教授
	2018 年 4 月	同大学大学院工学研究科・工学部長
	2022 年 4 月	同大学副総長
	2026 年 4 月	愛知県顧問（現職）

※ 2027 年 4 月から愛知県公立大学法人理事に就任予定

(2) 学科・コース

デザイン情報工学科 ▶ 機械・電気電子技術と情報技術を活用し、様々な社会の課題やニーズを本質的に捉え、魅力あるサービスや製品を生み出す実践的技術力を身に付ける学科

ロボティクスコース ▶ 機械・電気電子技術と情報技術を融合させ、ロボットやモビリティの仕組みやより高度な活用法を学び、実践的技術力を身に付ける情報融合型コース

AI・デジタルコース ▶ 情報技術の学びを深め、AI、サイバーセキュリティやデータサイエンス等の仕組みやより高度な活用法を学び、実践的技術力を身に付ける情報特化型コース

※ 学科・コースの名称や内容は、文部科学省の設置認可により正式に決定するものであり、変更する場合がある。

<設定の背景>

- ・DX や AI の急速な進展により、高度な情報技術を活用できる専門人材が、あらゆる分野の産業界から求められている。
- ・製造業を中心とする本県の産業構造を踏まえ、情報技術を駆使して産業界の DX を推進できる「デジタルものづくり人材」の育成が必要である。

(3) 法人の運営に関する事項

以下について、高専の設置後の整合を図るために変更する必要がある。なお、これらの変更には議会の議決が必要であること、高専の設置認可を踏まえて確定した内容を反映させる必要があることから、設置認可直後の 2028 年 9 月議会以降 に変更する予定である。

○定款の変更

<主な変更事項>

(総則)

- ・高専の設置を明示

(業務の範囲及び執行)

- ・高専設置を踏まえ、法人の業務に関する規定を修正

<変更のために必要な措置>

- ・県議会の議決
- ・国（総務大臣及び文部科学大臣）による認可

○授業料等料金の設定

<主な変更事項>

- ・高専の入学検定料、入学金、授業料を設定

<変更のために必要な措置>

- ・県議会の議決
- ・知事による認可

○第 4 期中期目標（2025～2030 年度）の変更

<主な変更事項>

- ・高専の運営に関する数値目標の設定

<変更のために必要な措置>

- ・県議会の議決
- ・第 4 期中期目標を踏まえた第 4 期中期計画の変更

目標期間	年度	主な経緯・予定
第 4 期中期目標	2025	11 月 県立高専の設置を表明
	2026	
	2027	9 月 設置認可申請
	2028	7 月 設置認可 9 月～定款の変更、第 4 期中期目標及び第 4 期中期計画の変更、 授業料等の設定
	2029	4 月 開校予定
	2030	